

Introduction

～ まちの人紹介 ～

雄武町地域包括支援センター 介護支援専門員

やました よしき
山下 芳樹 さん



「長年の夢だった『北海道で暮らしたい』という思いを実現するため、一念発起して転職しました。」
そう話すのは、昨年10月から雄武町地域包括支援センターで介護支援専門員として勤務する、兵庫県神戸市出身の山下芳樹さんです。

特別養護老人ホームで介護士、生活相談員、ケアマネジャーとして約30年間、介護の現場に携わってきました。介護の仕事を目指したきっかけを山下さんは、子どもの頃に田舎へ帰省した際、おじいちゃんやおばあちゃんに優しくしてもらった思い出が心に残っていたからだといいます。「人の役に立てる仕事があったらいいな」という気持ちで自然と芽生え、介護の道を選ぶ原動力になりました」と教えてくれました。

「今は、在宅で暮らす高齢者やご家族を支えるため、必要な介護サービスや関係機関につなぐ役割を担っています。75歳以上の方への訪問や、認知症予防事業なども行い、地域の皆さんが安心して暮らし続けられるよう日々取り組んでいます。また、仕事を始めてから訪問先で会話をするたびに『どこから来たの』と声をかけてもらえることに驚きました。関西弁のイントネーションを褒められることも多く、あたたかく迎えてもらっていると感じています」と笑顔をみせます。
今後の目標について、「雄武町に住んでいて良かったと思ってもらえるよう、先輩職員と力を合わせながら、地域の皆さんとのつながりづくりに取り組みしていきたい」と力強く話してくれました。



雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

◆編集後記 Editor's note

▼寒さが和らぎ、町内でも春の兆しが見られるようになりました。日々の景色が少しずつ変わっていくこの時期は、年度の切り替わりを静かに実感する頃でもあります。新しい季節に向けて、気持ちを新たに過ごしていきたいと思います。（渋谷）